

vol.  
**1112**  
2016・2017  
MEETING



Weekly report  
**山形中央ロータリークラブ**  
クラブ会報

# CLUB NEWS

2016-2017年度国際ロータリーテーマ／人類に奉仕するロータリー

〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稻荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200

例会 毎週火曜日12:30～13:30(但し第5週は18:30～) 会場 ホテルメトロポリタン山形

■会長 小泉俊哉	■職業奉仕 金子昌弘	■副幹事 石山徳昭
■会長エレクト 奥山宏	■社会奉仕 今野久仁正	■会計川合勝芳
■副会長 中川清美	■青少年奉仕 本間雅之	■S A A 朝倉克尚
■直前会長 丹野秀樹	■国際奉仕 長橋正人	国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム(アメリカ) 第2800地区ガバナー 長谷川憲治(山形) 第5ブロックガバナー補佐 中山真一(山形西)
■クラブ管理運営 小林敏郎	■幹事 金子将人	

◆日時／2017.4.11.12:30 ◆例会場／ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング／我らの生業



▶ 会長挨拶



まず最初に訃報のお知らせがございます。北ロータリークラブの亀松閣の 笹原様が4月5日お亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。当クラブでも18日亀松閣で観桜会が開催されますが先日女将にお悔やみのご挨拶させて頂きました。その時に18日の件をお聞きしたところ、当日は明るく楽しい会にして頂きたいと言わましたので、予定通り亀松閣様で行います。

今日のゲストをご紹介いたします。NHK山形放送局、局長そして山形ロータリークラブの栗田晴行様です。

先日信号待ちしていたらフロントガラスに小枝がコツン、またコツンと落ちてきました。上を見ても見える体勢ではなくバックミラーで見たら後の車の二人が上を眺めてる様子が見えました。すると真っ黒なカラスが

脇に飛んできました。結局電柱に巣を作っていたようです。そう言えば昨年春当たりに駅前あたりに朝晩沢山のカラスが集まりゴミをあさったり、糞による汚れ、悪臭がひどいとの事で市が猛禽類(鷹、隼)による追払を2回ほど試して、効果が出ているそうです。この試みは、東北の自治体では初めてだそうです。ただ私が思いますに、カラスにはカラスの役割があって害虫(ネズミ等)を食ったり私たちにとって良い事もあるともあり、難しい問題だなあとも感じます。(食物連鎖)最近イノシシ、熊も人家に出て来て危害を加えたりしていますが、うまく共存出来ることを考えなくてはならない時代になってきています。

最近北朝鮮、シリア、アメリカなど一触即発のニュースが頻繁に流れていますが世界がもっと仲良くできないのでしょうか?皆様はどのようにお考えになりますか?



小泉俊哉／栗田様の卓話に感謝いたします。

相川博昭／栗田局長お話ありがとうございました。息子が先日の天童杯サッカーで優勝し、本戦出場することとなりました。応援よろしくお願いします。

後藤完司／栗田局長様の卓話に感謝して!! 今後もご活躍を!!

▶ 本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	40名	—	26名	—
修正出席	40名	29名	27名	93.10%
他クラブでマークアップされた会員				



## ゲスト卓話 スポーツ放送とNHK山形の地域貢献

山形放送局 局長 栗田 晴行氏

平成26年6月に山形放送局第27代局長として就任させていただきました。実は25年前に、山形でアナウンサーをしておりましたので、四半世紀にわたり、山形にお世話になっています。私自身、身体の半分は「山形県民」だと勝手に思っています。NHKに昭和57年(1982)にアナウンサーとして入局して36年目。50歳までスポーツ実況中継を中心に仕事してきました。初任地が富山で、次に山形。その後広島に行ってスポーツアナウンサーの道をスタートさせました。

国際大会は、W杯サッカーは94年のアメリカ大会からドイツ大会まで4大会連続、オリンピックは、98年冬の長野、2000年のシドニー、2004年のアテネ大会と3大会。アジア大会は94年広島と98年バンコク大会などを現地から放送しました。中でも、サッカーではいろいろな放送に携わってきました。

2002年には、W杯日韓大会グループH初戦「日本—ベルギー」を放送しました。実況する時、まず気をつけるのは、視聴者の信頼感を損なわないという事です。サッカー中継は、スポーツ放送の中でも、特に「サッカー愛」が強い視聴者が多い。「サッカーがわかっているアナウンサーかどうか?」という事で放送の見方、良し悪しが大きく変わってしまいます。「目の前で起きていることをしっかり伝える」という実況アナウンサーとしては基本的な事を解説者の皆さんに教わりました。

2006年には、W杯ドイツ大会グループ初戦「日本—オーストラリア」の実況を担当しました。この試合、日本は、前半先制しますが、後半試合終了残り6分間で、逆転され、その後、アディショナルタイムに3点目を失って敗れます。私は92年のアジアカップから2009年の南アフリカW杯大会のアジア最終予選まで18年間、日本代表の試合の中継に携わってきましたが、勝利の喜びより、悔しい思いをする中継の方が多かったような気がします。負けた試合の放送は人々の記憶にも残らないのが世の常ですが、後になって、この放送を評価していただいた事があります。

実は、日本が3点目を失った時、私は「26秒間何も実況していない」のです。黙って、映像と場内音だけで表現したのですが、「この沈黙は、まさに日本で見ていた人々の絶望感を見事に表現して、人々に落胆を押し売りするものではなかった。選

手の落胆、視聴者の落胆とシンクロしていたものだった」という事でした。

ずっと、どんなコメントをつけるか、どうしゃべれば感動してもらえるかを考え続けていたアナウンサーが、結局最も褒められたのは、「コメント」ではなく、「沈黙」だったというのは皮肉なものだと思います。アナウンサー時代心がけていたのは「人の感動を横取りしない」という事です。どんな美辞麗句をもってしても、選手の真剣なプレーや最高の技術、決まった時の笑顔にはかなわない。逆に歯の浮いたようなセリフが邪魔になることだってあると思います。「NHKの放送は盛り上がらないからつまらない」という方もいらっしゃいます。我々は「感動を押し付けてはいけない」「感動を手渡しするような放送をしたい」と思って中継しているという事を覚えておいていただきて、これからのスポーツ放送、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを楽しんでいただければと思います。

山形放送局長就任以来、一番力を入れているのが、「山形の魅力やすばらしさを全国に、世界により多く発信したい」という事です。これが山形を応援していくことにつながっていくと思っています。山形の美しい自然や人々のすばらしさを全国・世界に伝えていくことが、NHK山形の大きな使命であり、私の「故郷」山形への恩返しだと思っています。これからも積極的に取り組んでいきますので、ご期待ください。去年山形放送局は開局80周年を迎えました。81年目を迎える今年は、夕方のニュース情報番組をリニューアルしました。覚えやすく、「やままる」。山形の今日1日や魅力をまるごと、ぎゅっと50分にしてお伝えしようというコンセプトです。キャスターには、これで山形勤務が3回目という、中谷文彦アナウンサーを東京から呼び寄せました。「あさいち」のリポーターとして鍛えたナマ放送への強みを山形で発揮してもらおうと思いました。堅苦しくなく、リラックスして見られる番組になっていますので、是非ご覧ください。

スポーツ中継も「やままる」も皆様からいただいた受信料で制作しています。今後とも山形中央ロータリークラブの皆様のお力添えで、山形の受信契約率を向上させていただきたいと思っております。よろしくお願いいいたします。

本日はありがとうございました。

### 近隣クラブ例会案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
山形西 大沼デパート	山形南 ホテルキャッスル	山形 山形グランドホテル	山形北 山形グランドホテル	山形東 ホテルキャッスル
中山ひまわり館	山辺 料亭さ津き	月岡ホテル	江戸川グランデール寒河江	天童 清の湯
天童西 ホテル王将	寒河江さくらんぼ ホテルシンフォニー	天童東 天童ホテル		
山形イブニング パレスグランデール				

※欠席したらマークアップ、マークアップしたら出席委員長までご連絡下さい。